

## 断水機のオイル点検方法案内

Rev. B 2023/09/21 亀倉精機株式会社 設計 神谷

当社の断水機（SS-30, SS-50, または SS-50S）のオイル点検方法は下記の通りです。

（以下の図1、図2はSS-30の図ですが、SS-50, SS-50Sでも同様です。）

## A. オイルの点検と補充

1. リザーバを反時計回りに回して取り外します。（図1）

※ゴム油槽が破れないよう緩めたリザーバはポンプ本体に対してまっすぐ引き抜きます。

2. レリーズコックを開いた状態（ダイヤを戻した状態）でゴム油槽を上向きにして栓を抜き取り、油槽の中のオイル量が満杯であることを点検します。
3. オイルが不足している場合は、栓の穴よりオイルを満杯になるまで補充します。

オイルは一般油圧作動油 ISO VG 10相当品を使用します。

（コスモハイドロ HV10、シェルテラスオイル C10、又はモービルDTE (VG10) 他）

1リットルオイルは弊社で在庫してあります。

4. 点検・補充が終わったらレリーズコックを締め、栓をゴム油槽に取り付けて、リザーバを取り付けます。

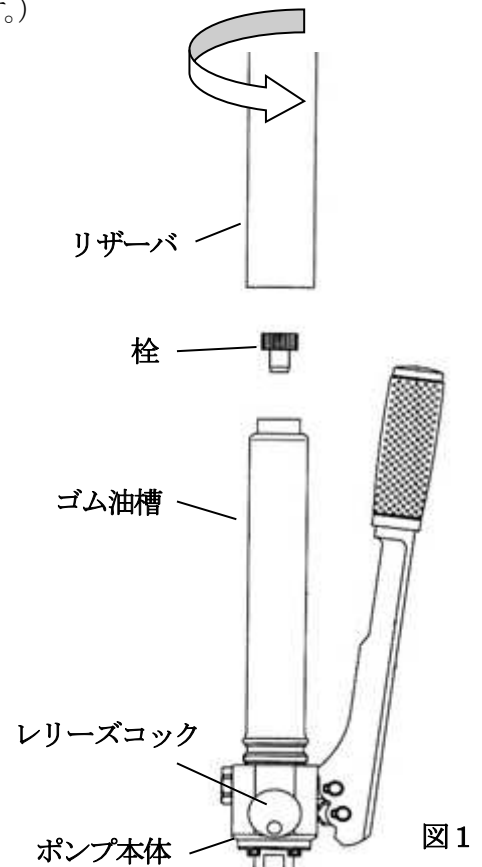


図1

## B. エアー抜き手順

高圧ホースを交換するなどした場合は上記3.の後にエアー抜き（空気抜き）をする必要があります。

- 3.1. 圧着部を下に置いて、ゴム油槽に栓をした油圧ポンプ部を油圧ホースより上側に持ち上げた状態で、レリーズコックを締め、ハンドルを操作して圧着部のダイヤが止まるまで進めます。（図2）
  - 3.2. ダイスが止まったら、レリーズコックを開き、ダイヤを戻します。圧着部や油圧ホース内にエアーがあった場合は、エアーが抜けてオイルが泡立ちます。オイルをこぼさないように注意します。
  - 3.3. 栓を外して、栓の穴よりオイルを満杯になるまで補充します。
  - 3.4. 栓をゴム油槽に取り付けます。
  - 3.5. この作業を数回繰り返すことで内部のエアーが完全に抜けて油圧がかかるようになります。
4. エアー抜きが終わったら、リザーバを取り付けます。

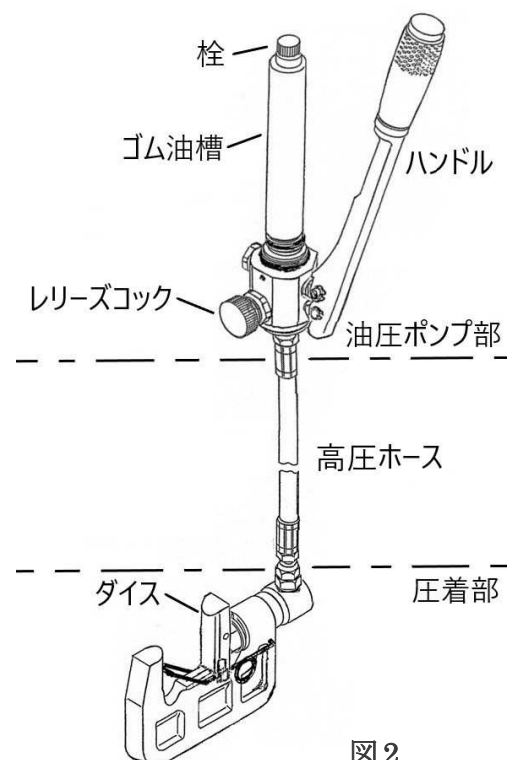


図2

---以上---